

はあふるふくしま 別冊

福島県災害ボランティアセンター通信

Vol.8 2011年6月13日発行

●この情報紙について 被災地の復興と被災者の方のサポートを行う災害ボランティアの活動と、今すぐ役立つ情報や取り組みを皆様にお伝えする情報紙です。県内の災害ボランティアセンターなどで配布されます。(週一回程度) 感想・ご意見は下記宛お寄せください。

発行: 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
福島県災害ボランティアセンター
〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地
福島県総合社会福祉センター1F
TEL024-522-6540 FAX024-522-6546
http://www.pref-f-svc.org



ボランティアレポート1 NPO法人 ハートネットふくしま



▲6月6日、パルセイロいざか(福島市)で行った昼の炊き出しの様子。本日のメニューは「もやしのみそ汁」。「普通のみそ汁が食べたい」というオーダーに応じて連合の皆さんと一緒に調理しました



▲炊き出しに使う食材は、宮崎県から届きます。新燃岳の噴火で風評被害にあった生産農家の支援がきっかけで繋がりが生まれました

ボランティアレポート2

被災動物の一時預かりボランティア

今般の大震災では、様々なボランティアが被災された皆さんの困りごとを解決すべく活動しています。飼い主さんの代わりにペットを預るボランティアもその一つです。福島市在住の渡辺浩子さんは、家族同様のペットと離れる辛さを思うと居ても立ってもいられず震災後「被災動物の一時預かりボランティア」に登録しました。一方、計画的避難区域に指定された飯館村在住の渡辺しげ子さんは、引っ越し先でペットを飼えないことが判明。二人をつないだのが動物預かりボランティアです。5月22日から福島市内で暮らし始めたしげ子さんの愛犬「まる(9歳)」の様子を何うと「ずいぶん落ち着いてきました」と浩子さん。飼い主さんとまた一緒に暮らせるようになるまで、たくさん可愛がってもらってね。



▲預かりに行った目的はしげ子さんと愛犬「まる」近況を電話やハガキで伝えあい交流は続いています。



▲先住犬「たる」とも仲良しになりました

一人じゃないよ。いつもそばにいるよ。これからも心のつながりを大切に支援を続けます。

「今日のおかずはなあに?」「みそ汁だよ。何気ない会話が活動の喜び」

福島県災害ボランティア連絡協議会を構成する団体の1つ、「NPO法人ハートネットふくしま」は、1995年の阪神淡路大震災に際し、福島県からボランティアを派遣した「郡山阪神大震災ボランティア派遣委員会」を母体に生まれた団体です。以来、地域福祉交流と全国の災害ボランティアとを結びつけ「心のつながり」を大切に、活動を続けてきました。今回の大震災では、一番困っている部分を支援したいと「炊き出し」を担当。NPO法人とちぎボランティアネットワークや連合災害救援隊の皆さんの力を借りながら、郡山市内に設けられた小さな避難所を皮切りに郡山市近郊、いわき市、中通りと要請に応じて範囲が広がって行きました。「みそ汁やシチューなど温かいメニューが喜ばれましたね」と、当時を振り返る吉田公男さん(理事長)。いろいろな避難所を回っていると食事の違いに気づくことも。「平等になるようにと思って、支援だけでなく意見もしてきました」。これから始まる仮設住宅の支援については、「いつも誰かがそばにいるという安心を届ける支援が何よりも重要だと思います」と吉田さん。一人じゃないよ。いつもそばにいるよ。そういう見守りを続けていきたいとおっしゃっていました。



▲3月下旬、いわき市四倉で行った炊き出し。声をかけると、車で移動できず食料も補給できずにいた人たちが集まり、700食があったという間になくなりました

地元応援団紹介

公益社団法人 会津青年会議所

会津青年会議所では、震災直後に義援金・支援物資の部署を立ち上げ、会津若松市社会福祉協議会と連携しながら全国各地から寄せられる支援物資の受け渡しや炊き出しなどの活動を行ってきました。相馬市災害ボランティアセンターに軽トラックを寄贈したこともそうした取り組みの一つです。「無理だと思うけど何とかならないか」。会津若松市災害ボランティアセンターに入った願いを何とか叶えたいと思い、すぐに購入して届けたそうです。「私達は、これからも一丸となって支援を続けていきます」と、五十嵐弘太郎専務理事。その声は、若さと力強さにあふれていました。



▲むつJCから寄せられた支援物資の前で。左から長瀬直前理事長、宮森理事長、むつJC理事長、五十嵐専務



▲2011年5月14日、相馬市災害ボランティアセンターに寄贈された軽トラック

特定非営利活動法人 うつくしまNPOネットワーク

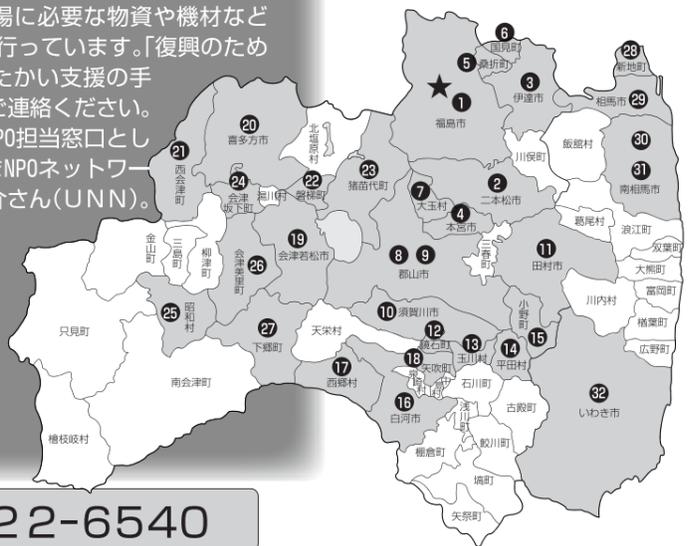
うつくしまNPOネットワーク(UNN)は、地震発生直後に救援物資調達配送基地「郡山基地」「会津基地」「いわき基地」を開設。命をつなぐ応急支援を精力的に続けてきました。他にも福島県災害ボランティアセンターにスタッフを派遣。災害ボランティア活動を希望する人たちをつなぎ、現場に必要な物資や機材などを調達し連携して届ける支援なども行っています。「復興のための支援はこれからも必要です。あたたかい支援の手をさしのべてくださる方はいつでもご連絡ください。県災害ボランティアセンターには、NPO担当窓口として黒澤が常駐しています。うつくしまNPOネットワークでも受け付けています」と、黒澤健介さん(UNN)。みんな復興を目指す仲間です。



▲黒澤健介さん(うつくしまNPOネットワーク地域(コミュニティ)活動支援アドバイザー)

市町村 災害ボランティアセンター MAP

6月13日現在、32カ所に設置されています。



★ 福島県災害ボランティアセンター …… TEL: 024-522-6540

- | | | | |
|--|---|--|---|
| <p>1 福島市災害ボランティアセンター</p> <p>2 二本松市災害ボランティアセンター</p> <p>3 伊達市災害ボランティアセンター</p> <p>4 本宮市災害ボランティアセンター</p> <p>5 桑折町災害ボランティアセンター</p> <p>6 国見町災害ボランティアセンター</p> <p>7 大玉村災害ボランティアセンター</p> <p>8 郡山市災害ボランティアセンター</p> | <p>9 おだがいさまセンター(ビッグバレットふくしま生活支援ボランティアセンター)</p> <p>10 須賀川市災害ボランティアセンター</p> <p>11 田村市災害ボランティアセンター</p> <p>12 鏡石町災害ボランティアセンター</p> <p>13 玉川村災害ボランティアセンター</p> <p>14 平田村災害ボランティアセンター</p> <p>15 小野町災害ボランティアセンター</p> <p>16 白河市災害ボランティアセンター</p> | <p>17 西郷村災害ボランティアセンター</p> <p>18 矢吹町災害ボランティアセンター</p> <p>19 会津若松市災害ボランティアセンター</p> <p>20 喜多方市災害ボランティアセンター</p> <p>21 西会津町災害ボランティアセンター</p> <p>22 磐梯町災害ボランティアセンター</p> <p>23 猪苗代町災害ボランティアセンター</p> <p>24 会津坂下町災害ボランティアセンター</p> | <p>25 昭和村災害ボランティアセンター</p> <p>26 会津美里町災害ボランティアセンター</p> <p>27 下郷町災害ボランティアセンター</p> <p>28 新地町災害ボランティアセンター</p> <p>29 相馬市災害ボランティアセンター</p> <p>30 南相馬市災害ボランティアセンター(鹿島区)</p> <p>31 // (原町区)</p> <p>32 いわき市災害救援ボランティアセンター</p> |
|--|---|--|---|